

今回は、中学部の2学期の様子や高等部の現場実習の取り組みについて、紹介します。

## 中学部



中学部では、9月11日(月)～13日(水)の3日間、1年生から3年生までの生徒たちが一緒に「仕事体験」に取り組みました。箸入れ班、ボルト・ナット班、サンプルはがし班の3班に分かれて行いました。毎週火曜日と金曜日に行っている作業学習よりも長時間になりましたが、大きな声で挨拶や返事、報告を頑張ることや、時間いっぱい作業に取り組むこと等を目標にして「仕事とは何か」に触れ、体験することができました。ナットの向きに気を付けてボルトを組み立てたり、衛生面に気を付けながら作業を行い、ほどよい緊張感を味わいながら仕事体験を終えることができました。3日間の仕事体験を通して、働くことの大変さややりがい、達成感など多くを学ぶことができる良い機会となりました。



### サンプルはがし班

### ボルト・ナット班

### 箸入れ班

## 高等部



高等部では、10月2日(月)～13日(金)の期間に2学期の実習週間がありました。現場実習(企業や事業所での実習)では諸事情により期間が前後することもあるため、9月25日～や11月に入って実習を行う生徒もいます。2学期の実習は、1年生は校内実習、2年生は個別の体験実習、3年生は個別の前提実習(最終)になります。現場実習を繰り返し、生徒に適した卒業後の活動や就労の場を生徒・保護者・学校(事業所)と話し合いながら決めていきます。

1年生は、普段生活している教室を「ここにこビジネスファクトリー」という名称の会社に見立てて、校内実習に取り組みました。今学期は100円ショップで販売している商品の検品・結束・袋詰め・箱詰め等の仕事をしました。「時間を守る」「敬語(丁寧語)を使う」「一生懸命に仕事をする」等、就労生活の基礎となる力を身に付けることができるように2週間頑張りました。決意表明式では、一人一人が堂々と自分の目標を発表することができました。2年生は、6月に実施した、集団(2～4名)での校外体験実習の経験を経て、個別で校外の事業所へ実習に行きました。初めての現場(実習先)に1人で参加するという、1学期よりもハードルの高い内容でしたが、得るものの多い経験になったと思います。3年生は、ほとんどの生徒にとって最後の前提実習でした。この実習の終了後、各事業所・企業から卒業後の利用や就労の可否が決定します。※一部生徒は就労開始時によりスムーズに勤務に取り組めるように、3学期に就労前実習を実施する場合があります。

10月1日から、岡山県最低賃金が40円引き上げられて時給932円になりました。これは、雇用契約のある就労の場合に適用されます。